



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月7日

上場会社名 朝日放送グループホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9405 URL <https://corp.asahi.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)沖中 進
問合せ先責任者 (役職名)コーポレート統括局長 (氏名)熊田 容子 (TEL)06(6458)5321
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	20,238	3.2	△734	—	△598	—	△428	—
2023年3月期第1四半期	19,606	△1.2	△228	—	△40	—	352	△20.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,328百万円 (464.9%) 2023年3月期第1四半期 235百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 △10.27	円 銭 —
2023年3月期第1四半期	8.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第1四半期	百万円 121,833	百万円 73,512	% 57.2
2023年3月期	122,305	72,445	56.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 69,734百万円 2023年3月期 69,259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 —	円 銭 6.00	円 銭 16.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	6.00	—	8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	3.4	2,500	△3.6	2,700	1.4	1,700	25.6	40.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	41,833,000株	2023年3月期	41,833,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	101,209株	2023年3月期	101,209株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	41,731,791株	2023年3月期1Q	41,728,926株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年6月30日まで)の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが「5類」に移行され、経済活動の正常化が進み、景気に穏やかな回復がみられました。しかしながら、原材料価格の高騰や物価上昇、海外景気の下振れリスク等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況の中、当社グループが主力事業を展開する放送・コンテンツ事業の売上高は、主力であるテレビスポット収入が減少しましたが、催物やコンテンツ関連の収入が増加しました。ライフスタイル事業の売上高は、テレビ通販収入の落ち込みなどにより減収となりました。以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は202億3千8百万円となり、前年同期に比べて6億3千2百万円(3.2%)の増収となりました。

費用面では売上原価が144億2千1百万円で、前年同期に比べて10億1千4百万円(7.6%)増加しました。販売費及び一般管理費は65億5千1百万円となり、1億2千3百万円(1.9%)増加しました。この結果、7億3千4百万円の営業損失となり、5億5百万円の減益、経常損失は5億9千8百万円で5億5千8百万円の減益となりました。また、投資有価証券の売却益5千4百万円を特別利益に計上しました。以上の結果、税金等調整前四半期純損失は5億4千4百万円で6億9千1百万円の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は4億2千8百万円となり、7億8千万円の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりです。

[放送・コンテンツ事業]

放送・コンテンツ事業の売上高は170億3千1百万円となり、前年同期に比べ7億9千4百万円(4.9%)の増収となりました。主力のテレビスポット収入等が減少となりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた催物の復活やアニメ関連収入の増加などにより増収となりました。営業費用は、テレビ番組制作やコンテンツ制作にかかる費用の増加等により8.0%増加しました。この結果、5億6千5百万円の営業損失となり、前年同期に比べて3億2千9百万円の減益となりました。

[ライフスタイル事業]

ライフスタイル事業の売上高は32億7百万円となり、前年同期に比べて1億6千2百万円(△4.8%)の減収となりました。テレビ通販収入の減少が主な要因です。減収に伴い営業費用は3.0%減少しました。この結果、6千3百万円の営業損失となり、前年同期に比べて1億5千3百万円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べて4億7千1百万円減少し、1,218億3千3百万円となりました。投資有価証券が増加した一方で受取手形、売掛金及び契約資産や有価証券が減少したこと等によるものです。

(負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて15億3千8百万円減少し、483億2千1百万円となりました。長期借入金が増加した一方で、未払金やその他流動負債に含まれる未払費用が減少したこと等によるものです。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて10億6千6百万円増加し、735億1千2百万円となりました。配当の支払い及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が減少しましたが、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は想定範囲内で推移しているため、通期連結業績につきましては、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前回発表予想のとおりとしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,251	21,719
受取手形、売掛金及び契約資産	15,934	14,074
有価証券	2,208	1,210
棚卸資産	2,828	2,984
未収還付法人税等	600	768
その他	2,704	2,763
貸倒引当金	△142	△147
流動資産合計	46,385	43,373
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,223	17,145
土地	15,512	15,512
その他（純額）	8,446	8,594
有形固定資産合計	41,181	41,251
無形固定資産		
ソフトウェア	2,055	1,939
ソフトウェア仮勘定	97	87
のれん	955	925
その他	120	129
無形固定資産合計	3,229	3,081
投資その他の資産		
投資有価証券	17,928	20,278
その他	13,649	13,926
貸倒引当金	△94	△100
投資その他の資産合計	31,483	34,104
固定資産合計	75,894	78,437
繰延資産		
社債発行費	25	23
繰延資産合計	25	23
資産合計	122,305	121,833

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	202	172
1年内返済予定の長期借入金	337	473
1年内償還予定の社債	13	3
未払金	8,364	7,205
未払法人税等	180	64
引当金	586	667
その他	9,916	7,934
流動負債合計	19,601	16,521
固定負債		
長期借入金	1,593	2,621
社債	10,000	10,000
退職給付に係る負債	9,339	9,317
資産除去債務	1,509	1,509
その他	7,814	8,351
固定負債合計	30,257	31,799
負債合計	49,859	48,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	5,999	5,999
利益剰余金	55,150	54,471
自己株式	△62	△62
株主資本合計	66,386	65,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,900	3,042
為替換算調整勘定	△121	△121
退職給付に係る調整累計額	1,093	1,106
その他の包括利益累計額合計	2,872	4,027
新株予約権	8	8
非支配株主持分	3,177	3,769
純資産合計	72,445	73,512
負債純資産合計	122,305	121,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	19,606	20,238
売上原価	13,406	14,421
売上総利益	6,200	5,817
販売費及び一般管理費	6,428	6,551
営業損失(△)	△228	△734
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	100	104
補助金収入	179	30
持分法による投資利益	16	-
その他	39	38
営業外収益合計	337	174
営業外費用		
支払利息	8	8
持分法による投資損失	-	6
固定資産処分損	38	9
貸倒引当金繰入額	79	5
その他	22	9
営業外費用合計	149	39
経常損失(△)	△40	△598
特別利益		
固定資産売却益	210	-
投資有価証券売却益	-	54
特別利益合計	210	54
特別損失		
投資有価証券評価損	23	-
特別損失合計	23	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	147	△544
法人税等	△181	△104
四半期純利益又は四半期純損失(△)	328	△439
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△23	△10
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	352	△428

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	328	△439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△146	1,755
為替換算調整勘定	1	△0
退職給付に係る調整額	51	12
その他の包括利益合計	△93	1,768
四半期包括利益	235	1,328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	258	725
非支配株主に係る四半期包括利益	△23	603

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1、2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	放送・コンテンツ事業	ライフスタイル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,237	3,369	19,606	—	19,606
セグメント間の 内部売上高又は振替高	103	131	234	△234	—
計	16,340	3,501	19,841	△234	19,606
セグメント利益又は損失 (△)	△236	90	△146	△82	△228

(注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△234百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△82百万円は、セグメント間取引消去18百万円及び報告セグメントに帰属しない新規の事業・市場開拓等にかかる費用△100百万円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1、2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	放送・コンテンツ事業	ライフスタイル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,031	3,207	20,238	—	20,238
セグメント間の 内部売上高又は振替高	299	38	338	△338	—
計	17,331	3,246	20,577	△338	20,238
セグメント損失(△)	△565	△63	△628	△105	△734

(注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△338百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

2 セグメント損失(△)の調整額△105百万円は、セグメント間取引消去△1百万円及び報告セグメントに帰属しない新規の事業・市場開拓等にかかる費用△104百万円であります。

3 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失であります。